磐城日日

發行所 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町諸廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

印刷 ハ 長瀬印刷所 小名浜町 電219

縣支廳の設置を陳情
平に濱通り支廳
野崎會頭経過を語る

四億三千万円にのぼる縣廳舎増改築議案が目下八月縣會で、田畑議員はじめ與黨議員の間にさえ時期尚早、その他緊急施策の序を轉倒しているとの理由のもとで總反撃の矢面に立つている時、増改築の費用で縣下三方部に支廳を設置せよという動きが活發となり、各方部の聲を代表して十二日田島若松市、野崎平市、星郡山市各商工會議所会頭らが相揃つて登廳、地方事務所を廢して浜通り、縣南、会津の三方部に縣支廳を設置して欲しいと連名陳情書を大竹知事、蓮沼縣会議長、縣總務委員会長等にそれ〴〵提出早急実現方を要請した

これに對し野崎平商工会議所会頭は

一方的に偏在している福島の縣廳は、地方の公平な行政運營上にも不合理で、恐らく全國一の不便な縣政の都は福島だろう、主要地區に支廳を設置して地理的に特に不便な福島集權の弊を脱することこそ眞に平等公平な縣政というべきで、縣下地方民のながい間の宿願であった

この度の陳情でわれわれ懸案の支廳設置が約束されたことは地方民に多大の利便をもたらすもので喜びに堪えない

小名濱音頭披露
十六日一小校庭で

小名浜観光協会では中元行事の一環として觀光祭りを行うことになり十六日午後七時から小名濱一小校庭でこのほど同協会でつくつた「小名浜音頭」の披露を行い藝妓總出演の小名浜音頭踊りのほか、常磐炭礦ブラスバンドの出演を乞い音頭普及に乗り出すこととなつた

大日本炭礦
夏季手當

大日本炭礦勿来礦業所券組の夏季手當ばかねてより磯原礦と共闘の形で行われていたが八日要求一万三千円に對し坑內百方及坑外百二十方五千円、坑內八十方及坑外百方三千圓などで一人當り四千五百円、五百圓の商品券計五千円で妥結した

郡下町村議長會
植田町役場で開く

石城郡町村議会議長会は七日午前十時より植田町役場會議室に於いて開催教育委員設置法一部改正非常消防団員の公務災害補償組合設置、縣下町村議會議長会負擔金などについて報告あり次いで、

一、議員団体保險について
二、地方自治法の一部について
三、議員文庫設置について
四、縣內の水利權は地方産業振興のために利用せられる事を要望する
五 國有林野整備臨時措置法の實施促進について
六、平衡交付金増額運動について

等を協議してた

歡迎旗で縣体の準備

來る二十二日第五回縣綜合体育大会の第五会場としてソフトボールと挑競技が行われる小名浜町当局では先に大會実行委員会を結成し約十萬圓の予算で施設の整備強化を計畫其の予算捻出方法の一つとして歡迎旗（一尺に全体黄色で三輪に歡迎としるした三輪旗）三枚一組として一千組作成一組百円で各商店、會社及び各種團体に配り予算目標達成に大童である

保育所で
精神衛生講習

磐城保育協議会（会長水野小名浜町長）では十一日午後一時より小名浜町第三保育所で小名浜、江名、泉、植田内郷などの五ヶ町村の保母さん五十名參集のもとに精神衛生に就いての講習会を開いた

講師は國立精神衛生保育所厚生技官平賀孟、玉井收介の両氏であつた

心光寺で施餓鬼執行

小名浜町定西心光寺では來る十七日午前十時より同寺本堂に於て孟蘭盆大施餓鬼会、法要並に日清戰役後以來大平洋戰爭までの戰死、病歿、戰災死者の慰靈祭を施行し諸精靈菩提の追善御回向及法話法然上人繪物語を行う

石城茨城漁調の打合會

石城海區漁業調整委員會植田、錦、勿来の各漁業協同組合と茨城縣大津及び平潟の漁業協同組合との「エビ、カニ」類漁業協定打合会は去る八日午後一時より茨城縣平潟漁業協同組合事務所に本縣水産事務所代表を交じえて話合つた結果、本縣勿来海岸一帶を中心とした「エビ」船引網、「カニ」刺し網に對して茨城縣側の入漁を認め、現在まで無協定で默認の形であつたものを條文化したもので期間は昭和三十六年八月三十一日までの向う十ヶ年間、入漁料は追つて定めることになつた、また九日には平潟に於いて勿来と平潟兩漁業協同組合間に海藻類の相互入漁協定を結んだ

孟蘭盆に臨時列車

國鐵では孟盆十五、十六の兩日臨時列車を運轉するが、平駅発臨時列車時刻は次の通り

一八、五五
二〇、二五
二一、四五 } 湯本行
二三、〇五 高萩行
二一、二六 久ノ浜行
二二、五〇 富岡行
二三、一〇 小川郷行

錦役場吏員
部內スポーツ

錦町役場では十日（公休日）午前十時より卓球（役場会議室）バレー、野球（小学校グランド）に於いて体育向上、親善体育會を開催した当日は赤、白の二組に別れ白組高木町長、赤組助川助役が陣頭に立つて華々しく対戰選手顏負けの技を觀せ、觀衆をアッと言わせヤンヤの拍手の中に午後四時親善体育祭の幕を閉じ白組が優勝し、和氣あいあいの裡に散会した

街の音盤

十一日夜十二時ごろ小名浜町定西、日本水素當繕課勤務井出高三さんの奥さんが外出から歸つて見ると、鍵をかけてない戸がどうしても開かない驚いてヒョイと硝子戸越しに家の中を覗いてみたら誰か居てカサ〱音がし、釣つて出た蚊帳が落ちているのでビックリ仰天、テッキリ泥棒だと前の深山組をたゝき越し警察に電話した

スハ大變と地区署の夜勤陣がおつとり刀で六名急行、入口は表の一方だけ三方は板壁で完全に閉されて逃げ場はないとこの家

――ヨシ御用だと表門の警備を嚴して一齊に踏み込んだら………

何處に消えたか泥棒の影も形もない

へ ハテ面妖なとよく〱聞くと、蚊帳は奥さんのあとから外出した井出さんがはづして出、奥さんのみた怪しき者は木の影で何のことはない影異変井出さんの家から泥的イデずでチョン

―郷土の新聞― 磐城日日

童話 梵天國 ⑩

佐藤春美
高萩精玄

十

中納言もこれをお聞きになつて、大變御心配になられ、じつとしている氣にもなられませんでしたが、涙をおさえて姫君の身の上のことをおきゝなさいました。しかし、思い直して、

「それは父のものことにいたしまして、實は私は大王の御自筆の御判をいたゞいて、天下に名を殘すために參つたのでございます。あとで、歸つて姫のことをたずねましよう。」

とおつしやいましたので大王は、金の札に御判をおして中納言に下さいました。そして、

「誰か、中納言を日本國へお送り申し上げなさい。」

と仰せられました。中納言は、知らない國とはいうもの、姫君のお父上のいらつしやるところと思うと名殘惜しさは限りありませんでした。中納言は、

「遥々日本へ歸つたとしても、姫君がおいでになればこそ嬉しいのに今となつては」

と暫く涙にかきくれました。梵天王も大層お氣の毒にお思いなされて、

「といつても姫の安否もまだわからないのではありませんか。」

と慰さめて下さいました多くの官人が門の前まで送つて下さると、今までどとかへ行つてしまつたものとばかり思われた葦毛の駒がどこからともなく忽然として現われて、一聲高くいなゝきました。それを聞くと中納言も何んだかとても力強くなつてしまいました。馬にまたがると、暫くして再び陸地に降りたちました。静かに目をお開きなさいますと、花の都は五條の館におつきになつておりました。

中納言はすぐさま御所に參内して梵天王の自筆の御判を差し上げますと、

「何んとまあ不思議なのですね。」

と仰せられて、宮中の內匠寮のお倉の中にお納めになられました。

中納言は自分のお邸にお歸りになつて御覽になりますと、昔のまゝで少しも變つておりません。

「ひよつとしたら中納言樣が梵天國からお歸りなされるかもしれない。」

といつてお附の女官達が走り騒いでいる所でしたはくもん王があばれとんで來たあともそのまゝになつて居ります。女官達や乳母などは中納言の無事にお歸りになつたお姿を目のあたりに見て、いよ〱悲しくなつて泣き伏してしまいました。姫君のおいでになつた所には御枕も美しい夜着もまだそのまゝになつておりました。中納言も今は大變悲しくなつてしまつて

「これは夢でしょうか、もし夢なら早く覺めてほしい。」

と悲しみにくれておいでになりました。

◎……◎
◎……◎
◎……◎

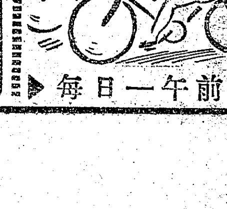
土地附新築家屋分譲
◎土地二十三坪 家屋九坪
（六疊、四疊半、玄關、炊事場付）
◎土地二十八坪 家屋九坪
（六疊、四疊半、玄關、炊事場付）
姓名 在社

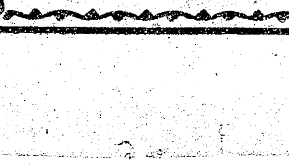
パーマと美顔は… 小名浜 本田美容室

内科 小児科 會田醫院
院長 會田亮
小名浜町横町（電一四八）

紳士服・婦人服
純毛服地專門店
――御注文洋服は技術本位――
皆様のチケットを御利用下さい
大井洋服店
小名濱町本町通り

一級清酒 磐城櫻
長瀬彰義
小名濱町林城
電話一九九番


第8回平競輪開催
8月 13（水） 14（木） 15（金） 16（土） 17（日） 18（月）
毎日一午前11時発走
平駅前より競輪場迄無料バス運行

24周年記念に付き3割引
毎度永らく御引立下さいまして誠に有難く御禮申し上げます
24周年記念に付き15日迄3割引致します どうぞ御來店下さい
全部手製靴 ◎全部現價販賣◎
高級紳士靴…………3.000
高級婦人靴…………2.000
高級皮サンダル……見切
ビニールサンダル…見切
男子注文靴 最上品…3.200
婦人注文靴 最上品…2.500
婦人皮サンダル 最上品…2.200
皆様のチケットをさいとう靴店に御利用下さい
小名濱町本町通り

さいとう靴店
TEL422

小名浜の鮮魚
七月は三十万貫

小名浜縣水産試験場では、十一日小名浜港に於ける七月中の魚種別水揚高を次の通り發表した、尚六月に比較すると約五十万貫の減となつている(單位貫)

▼旋網漁業四六隻(延八十八隻……いわし(一三六七七)他いわし(二、八五四)かつを(二、八八九)まぐろ(五八七)かじき(一八)さば(四九、二五六)ぶり(三、五六八)サメ(二〇)たい(五九)かれい(一)ひらめ(六)あじ(二、七〇七)すずき(〇、四)其の他(二九)計八一、〇七四

▼定置網漁業七隻(延二六六隻)いわし(二二八)他いわし(五、二九〇)かつお(八二)まぐろ(一〇七)かじき(二八)さば(八、七九七)ぶり(五、五六九)たら(一)サメ(四、二八六)たい(一、四三五)かれい(〇、五)あじ(七四、四一〇)ます(一)すずき(二九)ハモ(〇、三八)ぐち(一二)とび魚(三二二)いか(二〇二)たこ(六)エビ(二)其の他(五〇三)計一〇一、三二二

▼底曳網漁業一隻(延一隻)まちじ(一五〇)まぬけ(一一)エビ(五二)計二一四

▼刺網漁業四隻(延三五隻)いわし(二、四八一)他いわし(六)さば(三六一)あじ(四五八)計二、三〇七

▼かつお釣り漁業二〇隻(延三〇)かつお(七一三三四)まぐろ(七、一五四)其の他(二三四)計七八、六四七

▼延縄漁業(大型)一隻(延一隻)かじき(一〇三)サメ(八九)計一九三

▼延縄漁業(小型)四隻(延一八隻)まぐろ(六七)サメ(三)ひらめ、すずき(一二)其の他(二九)計二二三

▼地曳漁業五隻(延八四)他いわし(三二)さば(六七)ぶり(八四)たい(五)ひらめ(一三三)あじ(一、三五六)すずき(四)このしろ(〇、五)はも(九九)ぐち(五四)いか(一)たこ(〇、六)エビ(一〇)其の他(一二二)計二、〇六五

▼其の他漁業
計一〇、八五五

總計二七、三六六

天氣豫報 13

(本日)東寄の風日中は時々薄日もさしますが曇りがちの天氣で一時俄か雨の降る所もありましよう

(海上)此處二、三日穩かな方ですが多少波立つ事もあるでしよう

魚菜市況 12

【小名浜中央青果市場】

巻一〇〜一一、五〇西瓜三〇〜五五人參三〇〜六五大根五〜六八根生姜一二〇〜一三五胡瓜四〇玉葱三〇〜四〇とまと四〇〜九〇ずいき一〇〜三〇唐黍二〜五瓜六〜二〇茄子一六〜二三みようが一九〇〜二一〇葱四〇〜六五刀豆一〇〇〜一五〇小豆一二〇〜一七〇午蒡一二〇〜一七〇里芋四五〜一四五梨一三〇〜一六〇さつまいも一〇〇〜一二〇

植田町役場
町長 渡邊國之助
助役 吉田信雄
收入役 古川二郎
外吏員一同

植田町議會
議長 鷲文治
副議長 樋田善三郎
布施宗　山際丑太郎
赤津亦男　北郷德助
下山田勇　赤津新兵衛
赤津馬次郎　小川信夫
中根覺衛　高木一男
小野塚量　成瀬巳三
小宅榮太郎　古川金之助
佐藤鐵太郎　鷲富太郎
森合芳男　橋喜濤
渡邊兵衛門　蛭田勝雄

植田町消防團
團長 森合芳男
副団長 清水賢吾
赤津喜代三
外團員一同

錦町役場
町長 高木武一郎
助役 助川庄次
收入役 田邊保孔
外吏員一同

錦町消防團
団長 小野金一
副団長 門馬孜男
外團員一同

勿來町役場
町長 青天目信次郎
助役 渡邊禮五郎
收入役 馬目武助
外吏員一同

勿來町消防團
團長 關根忍
副団長 川井元太郎
安島正治
外團員一同

入遠野村役場
村長 平子大門
助役 上遠野駿一
收入役 平子利一
外吏員一同

山田村役場
村長 蛭田三郎
助役 蛭田光太郎
收入役 秋山義一
外吏員一同

呉羽化學工業株式會社
錦工場
取締役工場長 渡邊恭三
取締役副工場長 山縣孝雄
錦町TEL(植田)24、25、146

磐城通運株式會社
勿來支店

暑中御伺い申上げます

植田町營林署
署長 滝澤政雄
庶務課長 鈴木水貢
經營課長 今村達視
事務課長 志賀恒雄

鮫川土地改良區
理事長 古川傳一
理事 監事
小野義一 箱崎瀧三郎
大平正次 佐藤丑太郎
高荻政記 主事
佐藤權兵衛 高木保
飯塚藤右エ門
高木信定

菊田地區小中學校
校長會
会長 石井定衛

植田小學校 校長 舟生伊佐美

植田中學校 校長 園部一己

錦小學校 校長 竹岡傳

錦中學校 校長 佐川武夫

勿來郵便局
植田郵便局
錦郵便局
田人郵便局
路荷夫郵便局
勿來郵便局
石城川部郵便局
勿來酒井郵便局
石城山田郵便局

星初太郎
錦町江栗
電話(植田)一三〇番 一五六番

渡邊重三郎
植田町 電話一〇番

錦新聞販賣所
田邊榮次
薄葉孝輝
錦町中田落合
電話二一五番

磐城日日新聞社植田支局
中川誠

勿來新聞販賣所
絲川乘壽
勿來町窪田街通り
電話(勿來)五番

菊田地區金融團
株式會社 東邦銀行植田支店
株式会社 東邦銀行勿來支店
株式会社 大東相互銀行植田支店
植田信用金庫
株式會社 福島相互銀行植田事務取次所
株式会社・常陽銀行植田支店

菊多運輸株式会社
代表取締役 赤津幸之亮
錦町中田 電話三二九番

錦興業株式會社
取締役社長 佐久間清一
錦町中田 電話三四六番

高橋組
建設業 二級建築士
高橋民男
事務所 錦町中田落合
自宅 錦町江栗

植田地區炭礦組合
植田町町天神

金成土建株式會社
取締役社長 金成泰三
錦町中田 電話一七二番

平地區米穀卸賣協同組合
植田營業所

植田農業協同組合
組合長 高木一郎

錦町農業協同組合
組合長 鷺清章

勿來町農業協同組合
組合長 横山太一

山田村農業協同組合
組合長 小野順平

川部村農業協同組合
組合長 田子浦次

事故防止は優良部品の整備から
各種自動車部品販賣
株式會社 平和商會
植田驛前 電話四六番

大日本炭礦新礦々業所
所長 今泉重右エ門
礦業所 石城郡川部村
電話(勿來)一一六番

地下資源調査コアー掘試錐
上總式錐 各工事請負
今村礦業所
所長 今村務
勿來町窪田 電話一三三番

湯本町建建業親和會
會長 矢吹莊司
顧門 長谷川常吉

磐城貨物自動車株式会社
植田營業所
所長 阿部勉

福島縣浜通り自家用自動車組合
植田支部
支部長 星初太郎
主事 吉川平藏

山十嵐材木店
五十嵐金彌商店
營業所 植田町後宿 電話一六三番
工場 渡邊村洞口 電話四四番

磐城通運株式會社
植田支店
支店長 北郷德助
支店長代理 坂本喜

鐵屋商事株式會社
取締役社長 佐藤新
植田町本町 電話二六番

田人村消防團
團長 大津新一
副団長 齊藤哲二
全 蛭田榮太郎
外團員一同

法人設立
經理指導
東北經理受託株式会社
平市田町(平市署隣)

大日本炭礦株式会社
勿來礦業所
所長 鈴木本一
勿來町酒井出藏二〇
電話(勿來)一〇二、四五番

日本製塩株式會社勿來工場
日本コルク工業株式會社
勿來工場
工場長 小澤榮太郎
勿來町関田電話一一八番(勿來局)

建設大臣登録(イ)才九八〇号
山形建設株式會社
勿來出張所
所長 山形皐
勿來町関田 電話(勿來)一四〇番
本社 東京都中央區銀座二の五